

食の安全・安心に係る県民アンケート調査結果

和歌山県環境生活部県民局 食品・生活衛生課

1 調査の目的

「食」は生命の根源であり、人間の健康の維持に欠かすことのできないものです。しかし近年、ユッケや浅漬けによる集団食中毒事件や原子力発電所の事故に伴う放射性物質による汚染など、「食」の安全を揺るがす事象が起こっております。このような中、県民の皆さまが、「食」についてどのような意識をお持ちなのかを把握し、今後の施策に反映させていくことを目的としてアンケート調査を実施しました。なお、同様の調査は3年ごとに実施しています（今回は4回目）。

2 調査期間

平成24年10月28日～平成24年12月14日

3 調査項目の概要

- | | |
|--------------------------------|----------|
| (1) 食品に対する不安の有無とその要因 | <問1~問5> |
| (2) HACCPについて | <問6> |
| (3) 生食用食肉(牛肉)の基準について | <問7> |
| (4) 食品中の放射性物質に関する県の取組について | <問8> |
| (5) いわゆる健康食品に対する考え方 | <問9> |
| (6) 食品検査結果のホームページでの公表について | <問10> |
| (7) 食品表示について | <問11~13> |
| (8) 食品の安全性に関する情報の入手方法 | <問14> |
| (9) 食品の安全性に関する基礎知識及び身につけたい知識 | <問15~16> |
| (10) 地産地消について | <問17~18> |
| (11) 認定・認証制度について | <問19~20> |
| (12) 食品の安全・安心確保のために重要な県の取組 | <問21> |

4 調査の概要

(1) 調査対象者・調査方法・回答者数

調査対象者：日常的に食品を購入されている県民の方

調査方法：①わかやま食の安全サポーター*等を調査員として、居住地域や職場などにおいてアンケート用紙の配付・回収をお願いしました。

②10月28日和歌山市で開催された「わかやま食と健康フェア」の来場者にアンケートに答えていただきました。

回答者数：1,090名

*県民の食への関心を高め、食の安全や食生活の改善に関する知識等の普及を図り、消費者の自立を支援していただくために募集した方々。

(2) 調査結果の見方

ア. 回答比率(%)は小数点以下第2位を四捨五入したため、個々の比率の合計は、100%にならないことがあります。

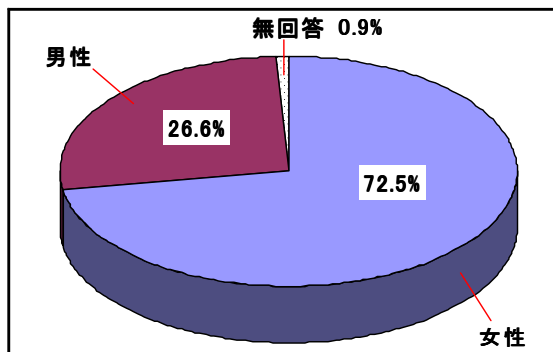
イ. グラフの中で「n」とあるのは、その質問の回答者の総数を示しています。

ウ. 複数回答の質問については、その回答比率の合計が100%を超える場合があります。

○調査対象者の概要 (n=1,090)

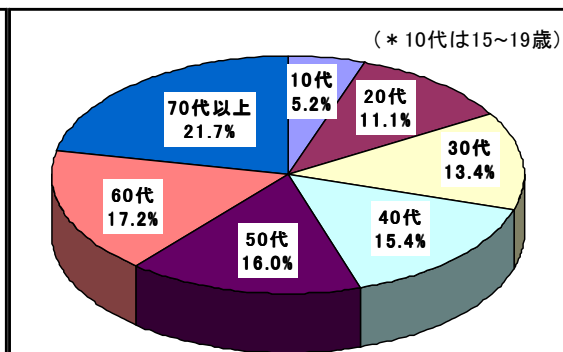
A. 男女構成

女性：72.5% (790人)
 男性：26.6% (290人)
 無回答：0.9% (10人)



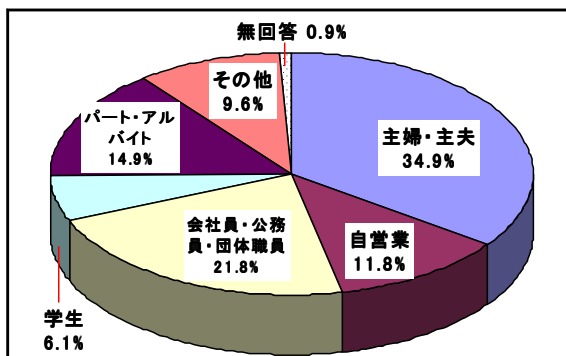
B. 年齢構成

10代*：5.2% (57人) 20代：11.1% (121人)
 30代：13.4% (146人) 40代：15.4% (168人)
 50代：16.0% (174人) 60代：17.2% (187人)
 70代以上：21.7% (237人)



C. 職業別構成

主婦・主夫：34.9% (380人)
 自営業：11.8% (129人)
 会社員・公務員・団体職員：21.8% (238人)
 学生：6.1% (66人)
 パート・アルバイト：14.9% (162人)
 その他：9.6% (105人)
 無回答：0.9% (10人)



D. 地域別構成

和歌山市：34.2% (373人)
 海草地区：7.6% (83人)
 那賀地区：12.5% (136人)
 伊都地区：9.6% (105人)
 有田地区：7.3% (80人)
 日高地区：10.3% (112人)
 西牟婁地区：11.2% (122人)
 東牟婁地区：7.2% (79人)

